

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 岩手県金ケ崎町

本事業の担当部局名 企画財政課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	1.1_3 出会いの機会・場の提供に関する取組							
個別事業名	金ケ崎町いきいき岩手結婚サポートセンター入会登録料助成事業	新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続					
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日	事業開始年度	令和7年度			
総事業費(A)(円)	80,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	80,000			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	80,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計		
	総事業費	0	0	0	80,000	80,000		
	対象経費支出予定額	0	0	0	80,000	80,000		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0		
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 少子化対策としては、令和5年度から小学校・中学校における給食費の無償化を実施するなど、子育てに係る経済的な負担軽減を中心に実施してきている。 このような中、出生数は徐々に減少してきており、令和元年に98人であったが、令和6年度には61人減少に歯止めがかかっていない状況。 婚姻数も令和元年度が74件であったのに対して、R6が47件と減少しているなど、出生率が上昇してこない要因の一つと考えられる。 これらの状況から、少子化の根本な原因の一つである未婚化・晩婚化対策を推進していくことが課題と思われる。</p> <p><本個別事業の位置付け> 出会いの場の創出に大きな役割を果たす、いきいき岩手結婚サポートセンターの入会登録料を助成するもの。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	いきいき岩手結婚サポートセンターの入会登録料助成事業	いきいき岩手結婚サポートセンターの入会登録料1万円を助成する。 ※個人への給付ではなく、負担金として“いきいき岩手”結婚サポートセンターへ支払うもの。					
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 結婚件数が減少している中、登録料は横ばいとなっており、一定数の成果があげられていることから、減少しないよう引き続き周知方法を検討していく。</p>								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻届件数		件	74 (R8)	47 (R6)
	出生数		人	110 (R8)	61 (R6)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.66 (R5)	
	婚姻件数		件	47 (R6)	
	婚姻率			3.0 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	助成対象者数実績/助成見込対象者の割合	%	100 (R8)	100 (R7)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	---	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	i-サポ会員同士の成婚数	組	27 (R8年度)	25 (R6年度)
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					